

# 役目を終えた石淵ダム（ダム本体 その1） ～その役割を胆沢ダムへ～

【当時】



【現在】



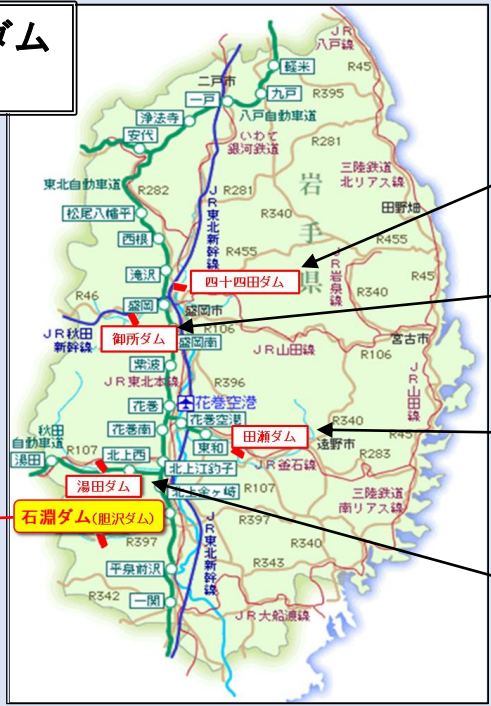
当時、石淵ダムは、洪水調節・かんがい・発電を目的に昭和28年に竣工、その後多くの洪水被害から地域を守り続けてきたが、さらなる洪水への対応や利水（かんがい、発電、上水道用水の補給等）計画の見直しにより、新たに胆沢ダムが平成25年に竣工しました。

現在、石淵ダムは、その役割を胆沢ダムへ引き継ぎ奥州湖へ水没していますが、水位低下時にはその雄姿を見ることができます。

# 役目を終えた石淵ダム（ダム本体 その2） ～その役割を胆沢ダムへ～

土木学会選奨土木遺産に認定された石淵ダム  
（北上川上流総合開発ダム群）

石淵ダム



石淵ダムは、北上川ダム統管理事務所が管理している「四十四田ダム」「御所ダム」「田瀬ダム」「湯田ダム」「石淵ダム」のダム群として、令和2年度に土木学会選奨土木遺産に認定されました。ダム群として初、また、岩手県内のダムとして初の認定となりました。

北上川流域の治水を最大の目的にしながら、発電・かんがい用水・上水道用水・工業用水の利水機能を併せた多目的ダム群として、北上川上流域の地域経済の発展に寄与した貴重な土木遺産として評価されました。 **土木遺産名⇒「北上川上流総合開発ダム群」**

※土木学会選奨土木遺産とは、土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木構造物の保存に資することを目的に、平成12年に創設された認定制度です。